



## 操作説明書

## Wide Format Stamp Tools

## はじめに

このたびは、スタンプキットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。  
本書は、スタンプツールをはじめてご使用になるかたを対象に、操作や注意事項などについて記載しています。

なお、本書の内容は、パーソナルコンピューター的环境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピューター的环境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム（以降、OS と表記します）、ネットワークシステムなどに付属のマニュアルをお読みください。

Microsoft、およびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Xerox、Xeroxロゴ、およびCentreWareは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

その他の社名、または商品名等は各社の登録商標または商標です。

Microsoft Corporationの許可を得て画面写真を使用しています。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ・このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- ・このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OS のバージョンによって異なることがあります。

FUJIFILM、およびFUJIFILM ロゴは、富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。

DocuWideは、富士フイルムビジネスイノベーション株式会社の登録商標または商標です。

本マニュアルは富士ゼロックスブランドの商品を含みます。

富士ゼロックスブランドの商品は、米国ゼロックス社からライセンスを受けている商品です。商品提供者は富士フイルムビジネスイノベーション株式会社です。

# 目次

はじめに .....	2
目次 .....	3
マニュアル体系 .....	4
マニュアルの表記 .....	4
<b>1 お使いになる前に</b>	
1.1 スタンプツールとは .....	5
1.2 スタンプツールの動作環境 .....	6
<b>2 スタンプツールの操作</b>	
2.1 スタンプツールの起動と終了 .....	7
スタンプツールを起動する .....	7
スタンプツールを終了する .....	7
2.2 スタンプデータを作成する .....	8
新規にスタンプデータを作成する .....	8
サンプルデータや登録されているスタンプデータを使う .....	10
他のアプリケーションで作成した TIFF ファイルを使う .....	11
他のペイントアプリケーションデータを使う .....	12
2.3 スタンプデータを編集する .....	14
画像をコピーする .....	14
画像を移動する .....	16
画像を消す .....	17
グリッドを表示する .....	18
ラベルを表示する .....	18
ペンで描画する .....	19
線で描画する .....	19
テキスト文字を書き込む .....	20
図形を描く .....	21
指定した部分を塗りつぶす .....	22
2.4 スタンプツールのメニュー／項目一覧 .....	23
スタンプツール画面のメニュー項目一覧 .....	23
コントロールボックスの項目一覧 .....	25
2.5 スタンプデータを転送する .....	27
スタンプデータを転送する .....	27
スタンプデータを呼び出す .....	31
スタンプを使用する .....	32
<b>3 注意／制限事項</b>	
3.1 TIFF データの仕様 .....	33
3.2 注意／制限事項 .....	33

## マニュアル体系

本製品には、次のマニュアルを用意しています。

### ■ Wide Format Stamp Tools 操作説明書（本書）

スタンプツールの操作や注意事項について説明しています。

### ■ スタンプツールのヘルプ

スタンプツールの転送機能について説明しています。

## マニュアルの表記

・本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

注記	必ず知っておいていただきたい情報、操作するときには必ず確認していただきたい情報を記載しています。
補足	操作の参考になる情報を記載しています。
参照	参照先を記載しています。
—	参照先タイトルやページへのリンクがあることを表します。 例： <a href="#">「1 概要」 (P.6)</a>

・本文中では、次の記号を使用しています。

「    」	本書内にある参照先を表します。 機能名、入力値、入力例や、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージなどを表します。
『    』	本書以外の参照するマニュアルを表します。
[    ]	コンピューターの画面に表示されるメニュー、ボタン、タブ、およびファイル、フォルダーなどの名称を表します。
〈    〉	コンピューターのキーボード上のキーを表します。
>	メニューの選択順序です。

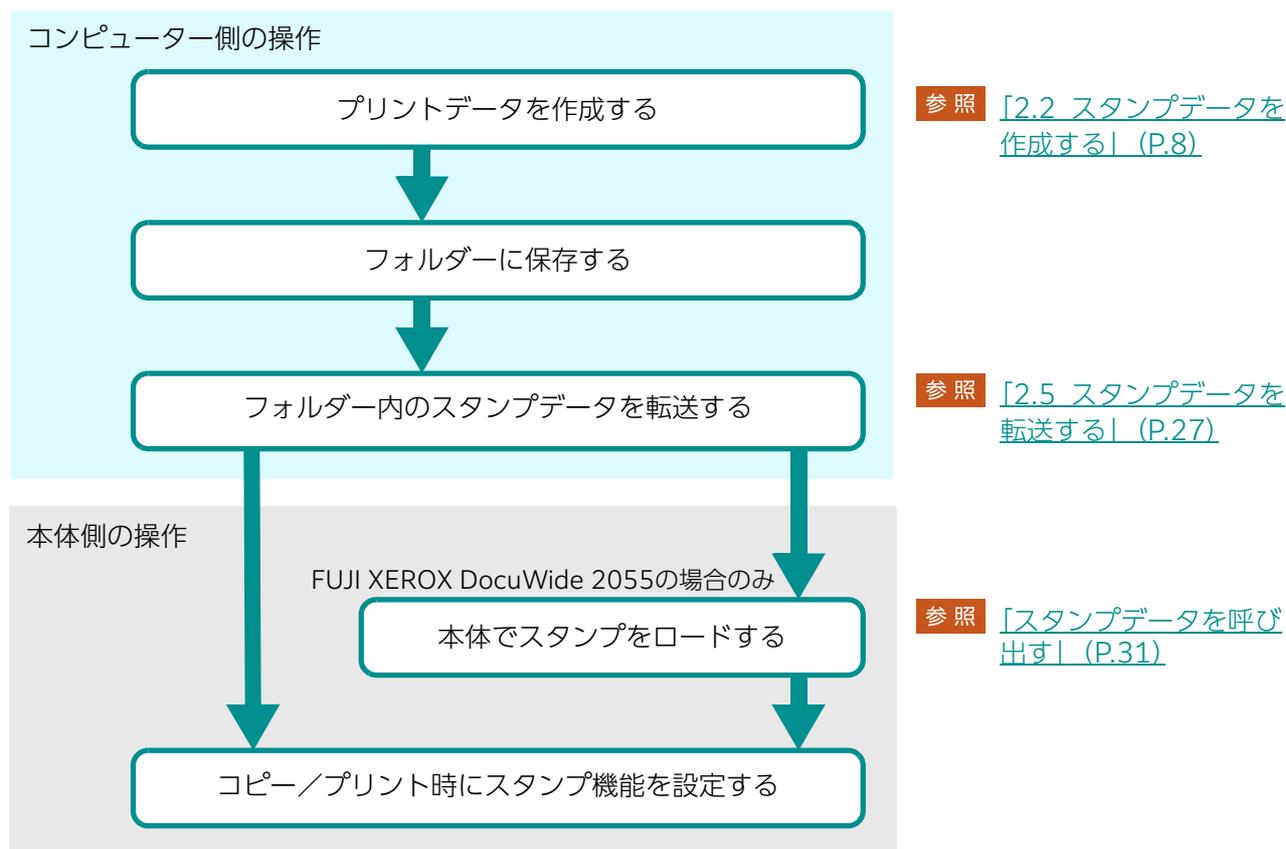
- ・本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。
- ・Microsoft Windows Operating System を「Windows」と表記しています。
- ・本書では、主に Windows 10 で使用した場合の操作例を記述しています。Windows 10 以外の OS をお使いの場合は、操作方法や画面が異なることがあります。

# 1 お使いになる前に

## 1.1 スタンプツールとは

スタンプツールとは、弊社、および、富士ゼロックス製の広幅複合機（以降、本体と表記します）で使用するスタンプを作成するためのソフトウェアです。

スタンプを利用するには、次の手順で行います。



参照 本体側の操作については、本体のマニュアルを参照してください。

## 1.2 スタンプツールの動作環境

スタンプツールの動作環境について説明します。

富士ゼロックス製のスタンプツールがインストールされている場合、アンインストールしてから弊社のスタンプツールをインストールしてください。

**補足** スタンプツールの最新情報については、弊社ホームページのダウンロードサイトをご覧ください。  
<http://www.fujifilm.com/fb/download/>

### 対象 OS

- ・ Windows 10 (32 ビット) 日本語版
- ・ Windows 10 (64 ビット) 日本語版
- ・ Windows 8.1 (32 ビット) 日本語版
- ・ Windows 8.1 (64 ビット) 日本語版

**補足** ・最新の対応 OS については、弊社公式サイトをご覧ください。  
・コンピュータの動作環境については、各 OS の推奨値に準拠します。

### ネットワーク

作成したスタンプデータを転送するために、コンピュータがネットワークに接続され、TCP/IP通信できるように設定されている必要があります。

**補足** Windows の [スタート] メニューから、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] > [ネットワークの状態とタスクの表示] > [アダプターの設定の変更] を選択します。[ローカルエリア接続] を右クリックして、ショートカットメニューから [プロパティ] を選択し、[ローカルエリア接続のプロパティ] 画面で、[インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)] が追加されていることを確認してください。

### スタンプキット (オプション)

本体側でスタンプをプリントするには、スタンプキット (オプション) が必要です。

# 2 スタンプツールの操作

## 2.1 スタンプツールの起動と終了

---

スタンプツールの起動と終了について説明します。

### スタンプツールを起動する

---

1. Windows の [スタート] メニューから、[FUJIFILM Wide Format Stamp Tools] > [スタンプ作成ツール] を選択します。  
[スタンプ作成ツール] 画面が表示されます。



### スタンプツールを終了する

---

1. [ファイル] メニューの [終了] を選択するか、[スタンプ作成ツール] 画面右上の [x] をクリックします。
2. 確認のメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。  
[スタンプ作成ツール] 画面が閉じます。

## 2.2 スタンプデータを作成する

スタンプデータを作成するには、次の方法があります。

- ・新規にスタンプデータを作成する
- ・サンプルデータや登録されているスタンプデータを使う
- ・他のアプリケーションで作成した TIFF ファイルを使う
- ・他のペイントアプリケーションデータを使う

### 新規にスタンプデータを作成する

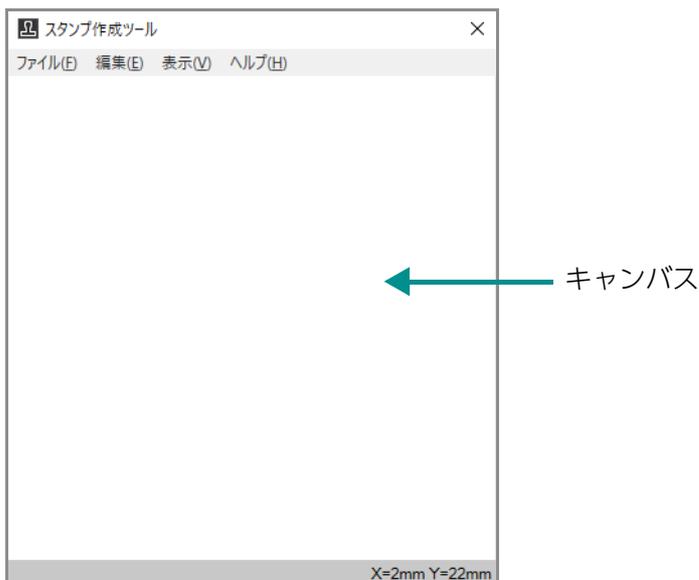
新規にスタンプデータを作成する手順は、次のとおりです。

1. [ファイル] メニューの [新規作成] を選択します。
2. スタンプを使用する機種とサイズを指定し、[OK] をクリックします。



- 補足**
- ・お使いのプリンターの機種名が表示されない場合は、スタンプ転送ツールを起動して、お使いのプリンターが表示されることを確認してから、再度スタンプ作成ツールを起動してください。スタンプ転送ツールについては、[「スタンプデータを転送する」\(P.27\)](#) を参照してください。
  - ・指定できるサイズは、最大 150×150 mm、最小 10×10 mm です。

[スタンプ作成ツール] 画面には、スタンプデータを作成するための新しいキャンバスが表示されます。また、[コントロールボックス] 画面が表示されます。



### 3. コントロールボックスを使って、スタンプデータを作成します。



**参照** コントロールボックスを使った編集については、[\[2.3 スタンプデータを編集する\] \(P.14\)](#) を参照してください。

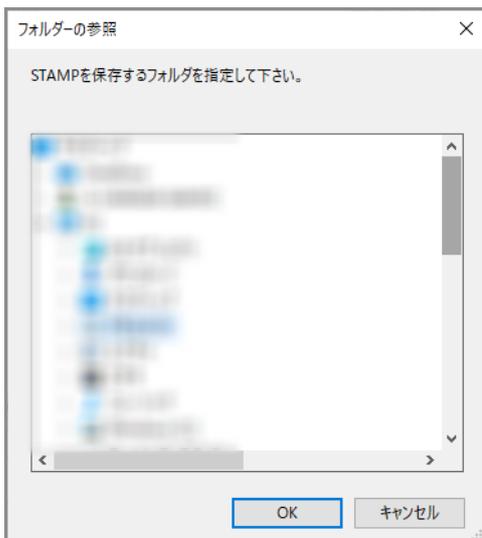
### 4. 作成したら、[ファイル] メニューの [保存] を選択します。

### 5. スタンプ番号を指定し、[OK] をクリックします。



**補足** 1～99 (DocuWide 2055 では 1～30) の範囲で指定できます。

### 6. 保存先とする転送用のフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。



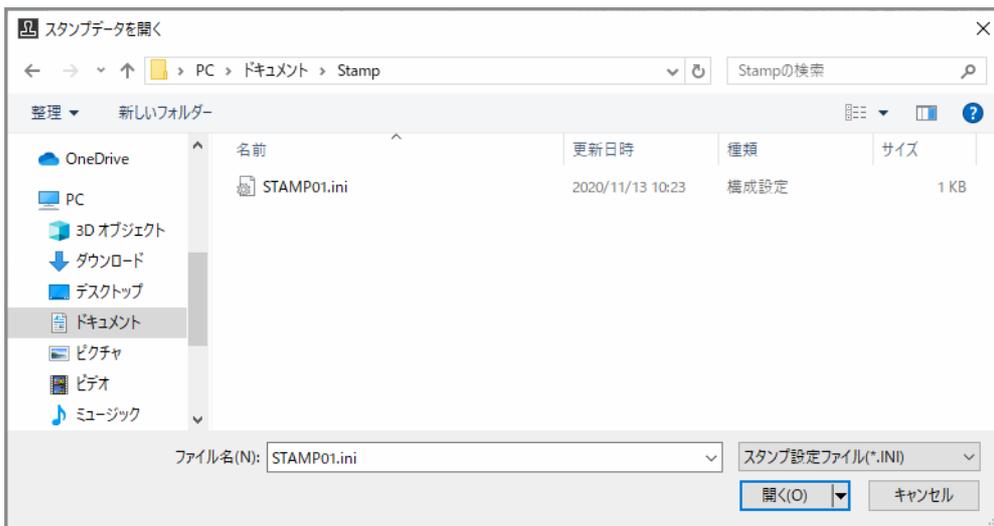
## サンプルデータや登録されているスタンプデータを使う

スタンプツールでは、あらかじめ数種類のサンプルデータを用意しています。サンプルデータを編集して、新しいスタンプとして利用できます。

また、すでに登録してあるスタンプデータを元に編集して利用できます。

**補足** 解像度が 600 dpi の機種のスタンプデータを、400 dpi の機種でそのまま使用できません。  
使用する場合は、[\[他のアプリケーションで作成した TIFF ファイルを使う\] \(P.11\)](#) を参照し、スタンプデータを保存し直してください。

1. [ファイル] メニューの [開く] を選択します。
2. 登録してあるスタンプデータがある場所を指定して、修正したいデータの INI ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



スタンプツールのキャンバスに、サンプル画像が表示されます。

**補足** サンプルデータを利用する場合は、インストールしたフォルダー> [Sample] フォルダーを開きます。

3. 必要に応じて、コントロールボックスを使って編集します。
4. 作成したら、[ファイル] メニューの [保存] を選択します。  
[スタンプの保存] 画面が表示されます。
5. スタンプ番号を指定し、[OK] をクリックします。
6. 保存先とする転送用のフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

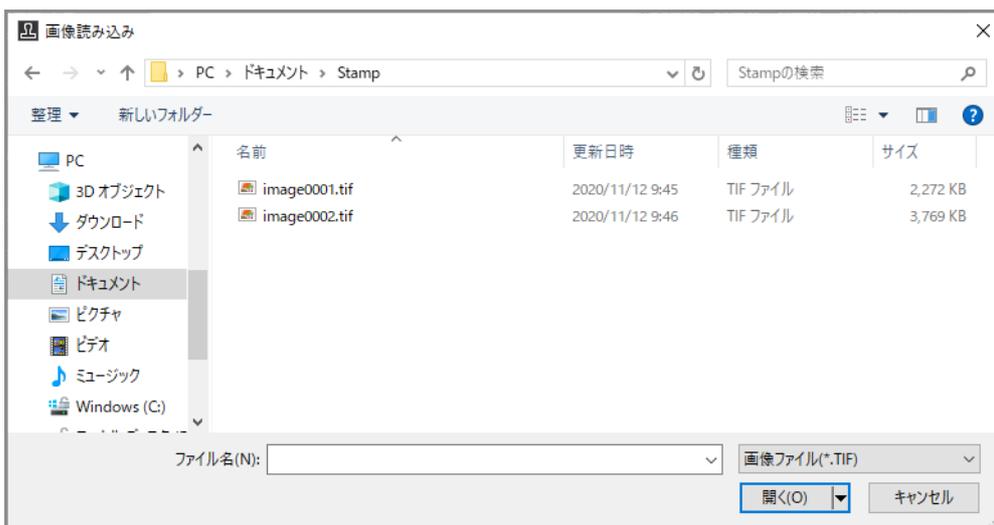
## 他のアプリケーションで作成した TIFF ファイルを使う

スタンプツールでは、TIFFファイルを編集して、新しいスタンプとして利用できます。  
また、600 dpiの機種スタンプデータを、400 dpiの機種で使用するときは、次の操作をします。

1. [ファイル] メニューの [新規作成] を選択します。
2. スタンプを使用する機種とサイズを指定し、[OK] をクリックします。

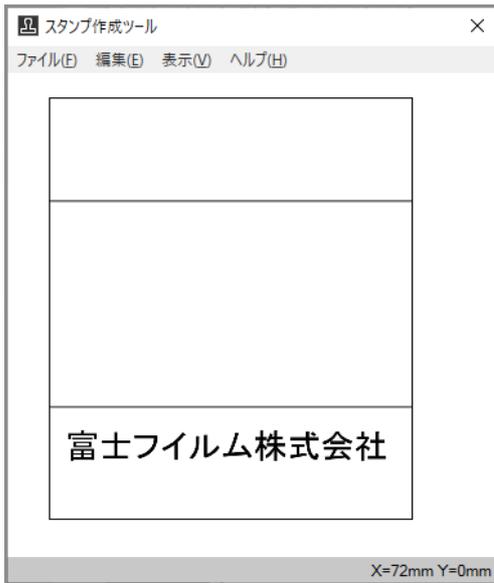


3. [ファイル] メニューの [画像の取り込み] を選択します。
4. 利用するファイルを選択し、[開く] をクリックします。



スタンプツールのキャンバスに、画像が表示されます。

**5.** 必要に応じて、コントロールボックスを使って編集します。



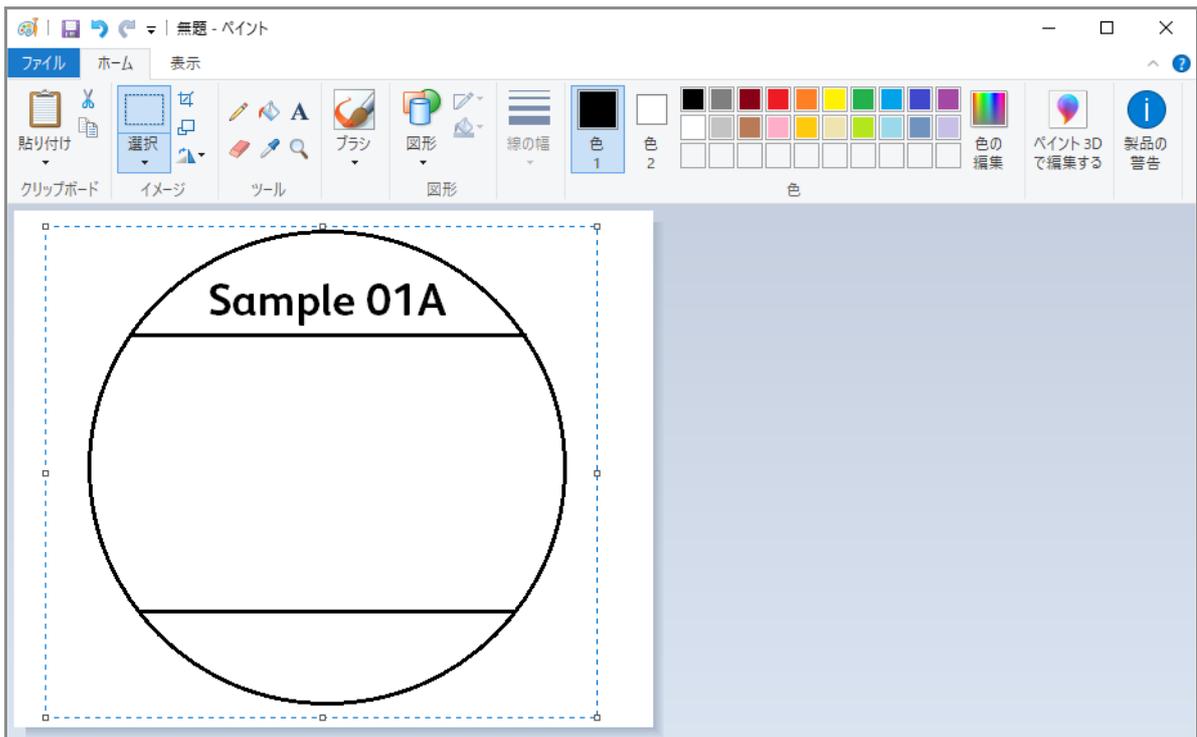
- 6.** 作成したら、[ファイル] メニューの [保存] を選択します。  
[スタンプの保存] 画面が表示されます。
- 7.** スタンプ番号を指定し、[OK] をクリックします。
- 8.** 保存先とする転送用のフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

## 他のペイントアプリケーションデータを使う

他のペイントアプリケーションで作成した画像を、取り込むことができます。ここでは、Windowsのペイントを例に説明します。

- 1.** [ファイル] メニューの [新規作成] を選択します。
- 2.** スタンプを使用する機種とサイズを指定し、[OK] をクリックします。



**3.** ペイントアプリケーションで画像を作成し、画像を選択ツールで選択し、コピーします。**4.** スタンプ作成ツールの [編集] メニューの [貼り付け] を選択します。  
画像が左上に表示されます。

5. コントロールボックスの機能を使って、画像を編集します。



6. 作成したら、[ファイル] メニューの [保存] を選択します。  
[スタンプの保存] 画面が表示されます
7. スタンプ番号を指定し、[OK] をクリックします。
8. 保存先とする転送用のフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

## 2.3 スタンプデータを編集する

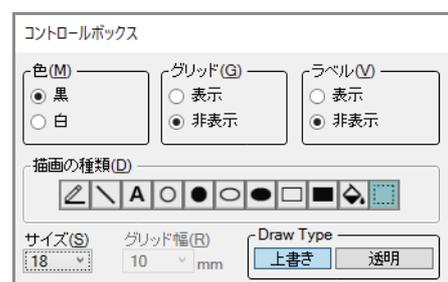
[コントロールボックス] 画面を使って、次の編集ができます。

- ・画像をコピーする
- ・画像を移動する
- ・画像を消す
- ・グリッドを表示する
- ・ラベルを表示する
- ・ペンで描画する
- ・線で描画する
- ・テキスト文字を書き込む
- ・図形を描く
- ・指定した部分を塗りつぶす

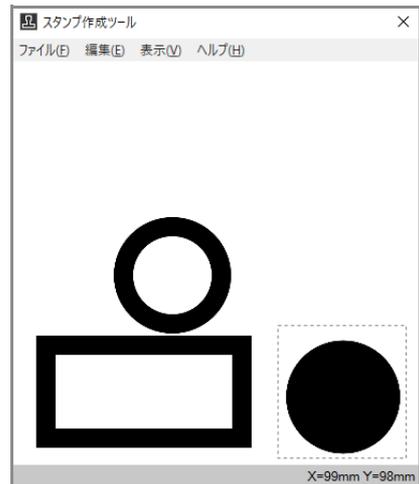
**補足** スタンプデータ編集時は、実際のデータよりも解像度を低く表示しているため画像が粗く見えます。

### 画像をコピーする

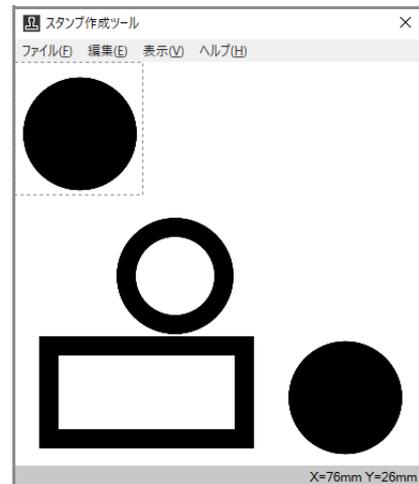
1. [描画の種類] で範囲指定を選択します。
2. [DrawType] を選択します。



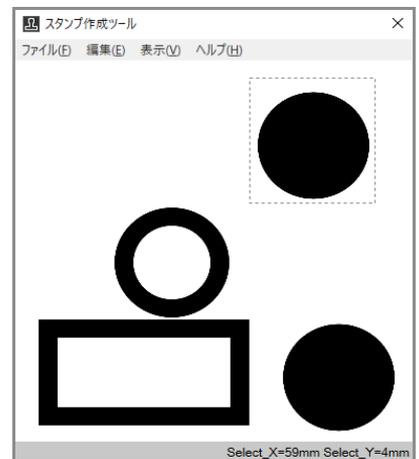
3. マウスの左ボタンを押しながら移動し、コピーする画像の範囲を指定します。左ボタンを離すと、確定します。
4. [編集] メニューの [コピー] を選択します。



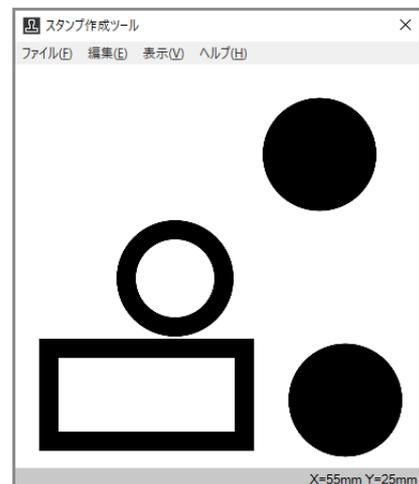
5. [編集] メニューの [貼り付け] を選択します。左上に画像が表示されます。



6. コピーする場所に移動します。

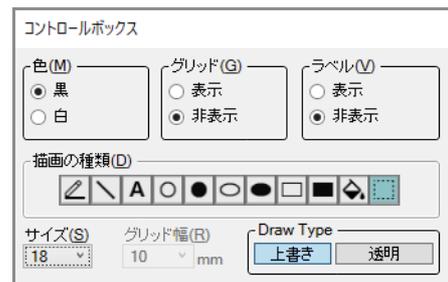


7. コピーした画像以外の場所で、マウスの左ボタンを押すと、確定します。

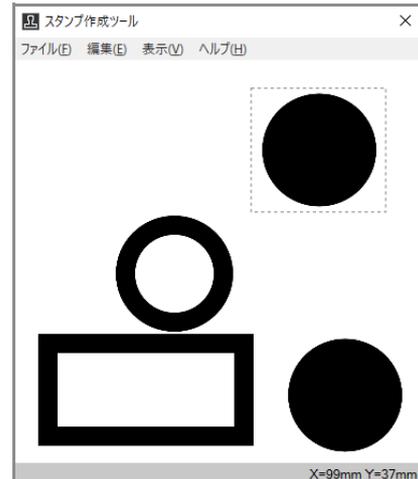


## 画像を移動する

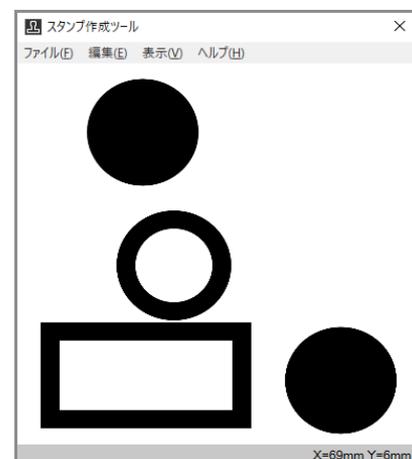
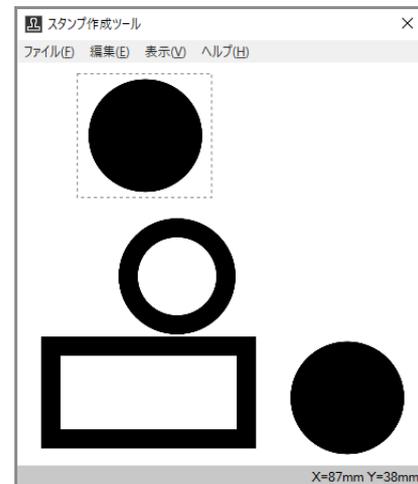
1. [描画の種類] で範囲指定を選択します。
2. [DrawType] を選択します。
3. マウスの左ボタンを押しながら移動し、移動する画像の範囲を指定します。左ボタンを離すと、確定します。



4. 選択した範囲内でマウスの左ボタンを押しながら画像を移動します。



5. 切り取った画像以外の場所で、マウスの左ボタンを押すと、確定します。



## 画像を消す

画像を消すには、次の3つの方法があります。

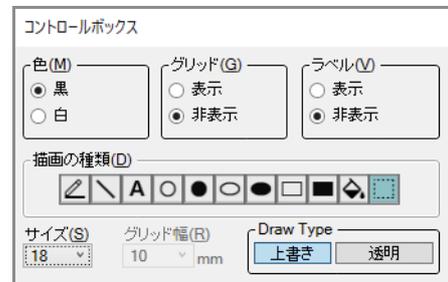
### ■ 方法 1

1. [色] で [白] を選択します。  
描画する線が白になり黒い画像を消すことができます。



### ■ 方法 2

1. [描画の種類] で範囲指定を選択します。
2. マウスの左ボタンを押しながら移動し、消す範囲を決めます。
3. キーボードの 〈Delete〉 キーを押します。



### ■ 方法 3

1. キャンバス上の画像を全部消すときは、[編集] メニューの [画像クリア] を選択します。

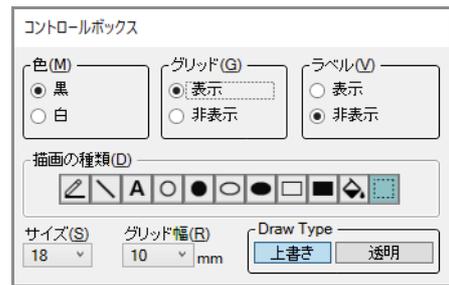
**補足** [元に戻す] などの履歴も消去されます。

## グリッドを表示する

1. [グリッド] で [表示] を選択します。

グリッドが表示されます。

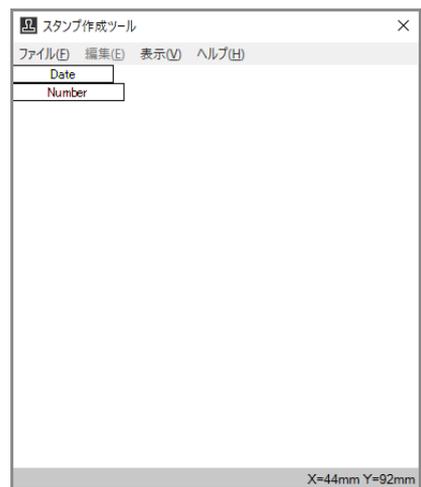
**補足** グリッドの間隔は、[グリッド幅] で設定できます。



## ラベルを表示する

1. [ラベル] で [表示] を選択します。
2. Date ボックスまたは Number ボックスを、マウスの左ボタンを押しながら移動します。

**補足** [ラベル] は、日付とナンバーの表示する位置を設定する機能です。フォントやフォントサイズ、表示内容の設定はできません。



## ペンで描画する

1. [描画の種類] でペンを選択します。
2. [サイズ] で描画する線のサイズを選択します。
3. マウスの左ボタンを押しながら移動すると、移動した軌跡が線になります。



## 線で描画する

1. [描画の種類] で線を選択します。
2. [サイズ] で描画するペンのサイズを選択します。
3. 線の書き始めでマウスの左ボタンを押しながら、線の書き終わりまでマウスを移動します。



4. マウスの左ボタンを離します。



## テキスト文字を書き込む

1. [描画の種類] でテキストを選択します。

**補足** 文字のサイズは、標準で「12」になります。入力前にサイズを「12」以下に変更した場合は、入力時に「12」に変更されます。「12」以上にした場合は、そのままのサイズになります。



2. マウスの左ボタンを押しながら移動し、範囲を決めます。左ボタンを離すと確定します。



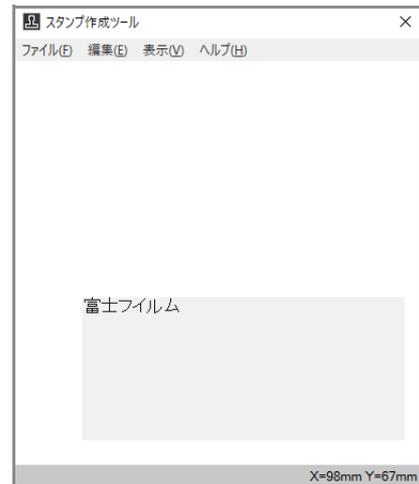
3. キーボードで文字を入力します。

4. サイズとフォントを選択します。



5. 指定した範囲でドラッグ & ドロップすると移動できます。範囲外でマウスの左ボタンをクリックすると、確定します。

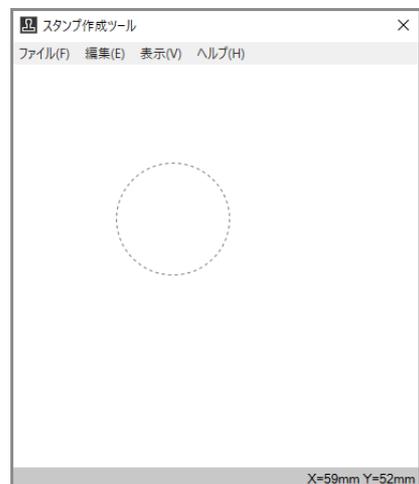
**補足** 確定したテキストの文字は、サイズ、フォントを変更できません。



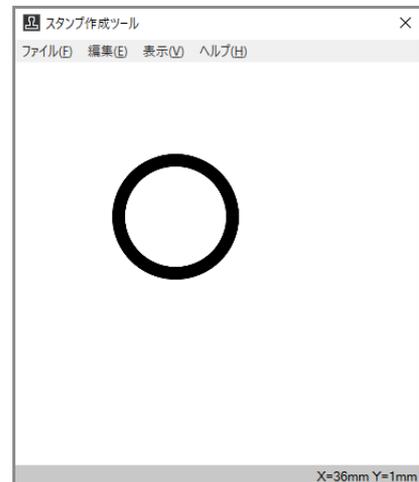
## 図形を描く

円、塗円、楕円、塗楕円、四角、塗四角は同じ操作で描くことができます。

1. [描画の種類] で描く図形を選択します。
2. 描画するペンのサイズを選択します。
3. マウスの左ボタンを押しながら移動し、図形の大きさを決めます。

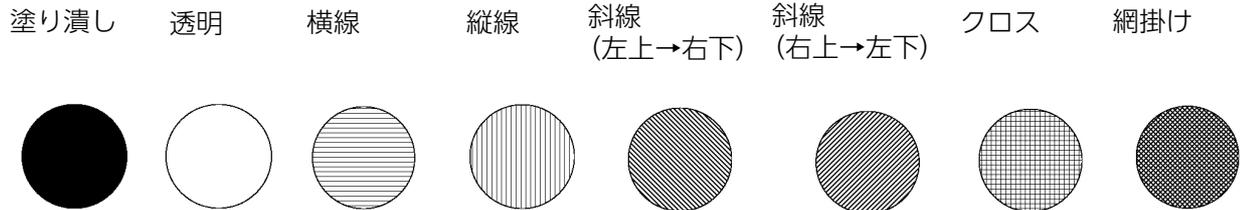


4. マウスの左ボタンを離すと、図形が描かれます。

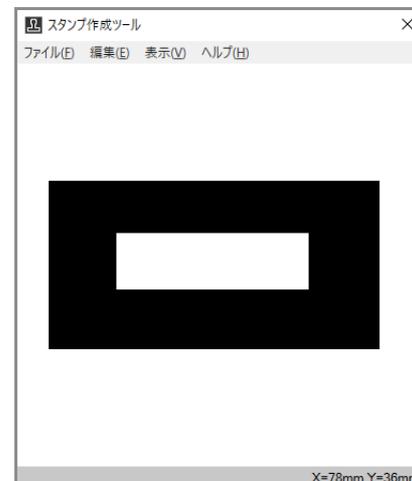
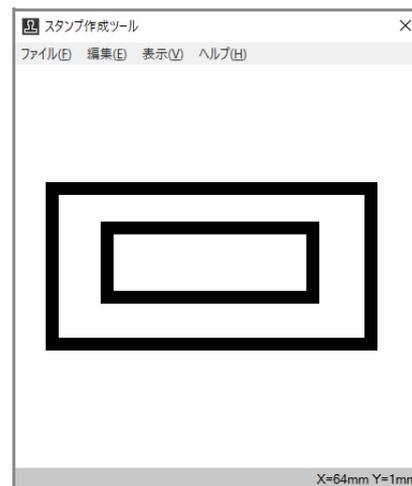


## 指定した部分を塗りつぶす

図形の塗りつぶしには、次の種類があります。



1. [描画の種類] で塗り潰しを選択します。
2. [塗り潰しの種類] を選択します。
3. 画像内で塗りつぶす範囲にポインター (+) を移動します。
4. マウスの左ボタンをクリックします。



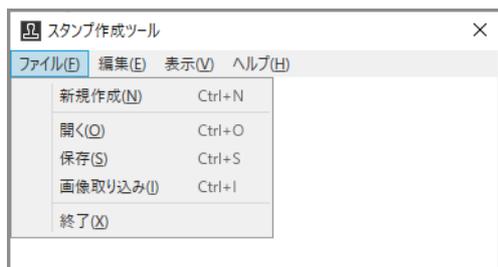
## 2.4 スタンプツールのメニュー／項目一覧

ここでは、スタンプツールのメニューや画面の項目について説明します。

### スタンプツール画面のメニュー項目一覧

スタンプツール画面の各メニューについて説明します。

#### ファイル



項目	説明
新規作成	新しいキャンバスで画像を作成するときに選択します。
開く	スタンプ画像を開くときに選択します。
保存	作成した画像を保存するときに選択します。
画像取り込み	TIFFファイルのデータを、スタンプ画像として取り込むときに選択します。
終了	本スタンプツールを終了するときに選択します。

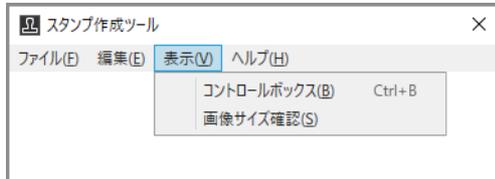
#### 編集



項目	説明
元に戻す	1つ前の状態に戻します（回数3回まで）。
繰り返す	直前の作業を繰り返します。
コピー	選択した画像をコピーします。
貼り付け	コピーまたは切り取りで選択された画像をキャンバス内に表示します。
切り取り	選択した画像を切り取ります。
画像クリア	キャンバス内の画像をすべて消します（保存されません）。[元に戻す] などの履歴も消去されます。

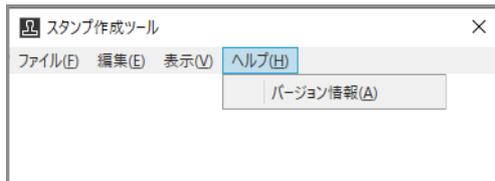
項目	説明
Y 軸対称	選択した画像を縦軸対称に反転させます。範囲を指定しない場合は画像全体が反転します。
X 軸対称	選択した画像を横軸対称に反転させます。範囲を指定しない場合は画像全体が反転します。

## 表示



項目	説明
コントロールボックス	コントロールボックスを表示します。
画像サイズ確認	使用しているキャンバスのサイズを確認できます。

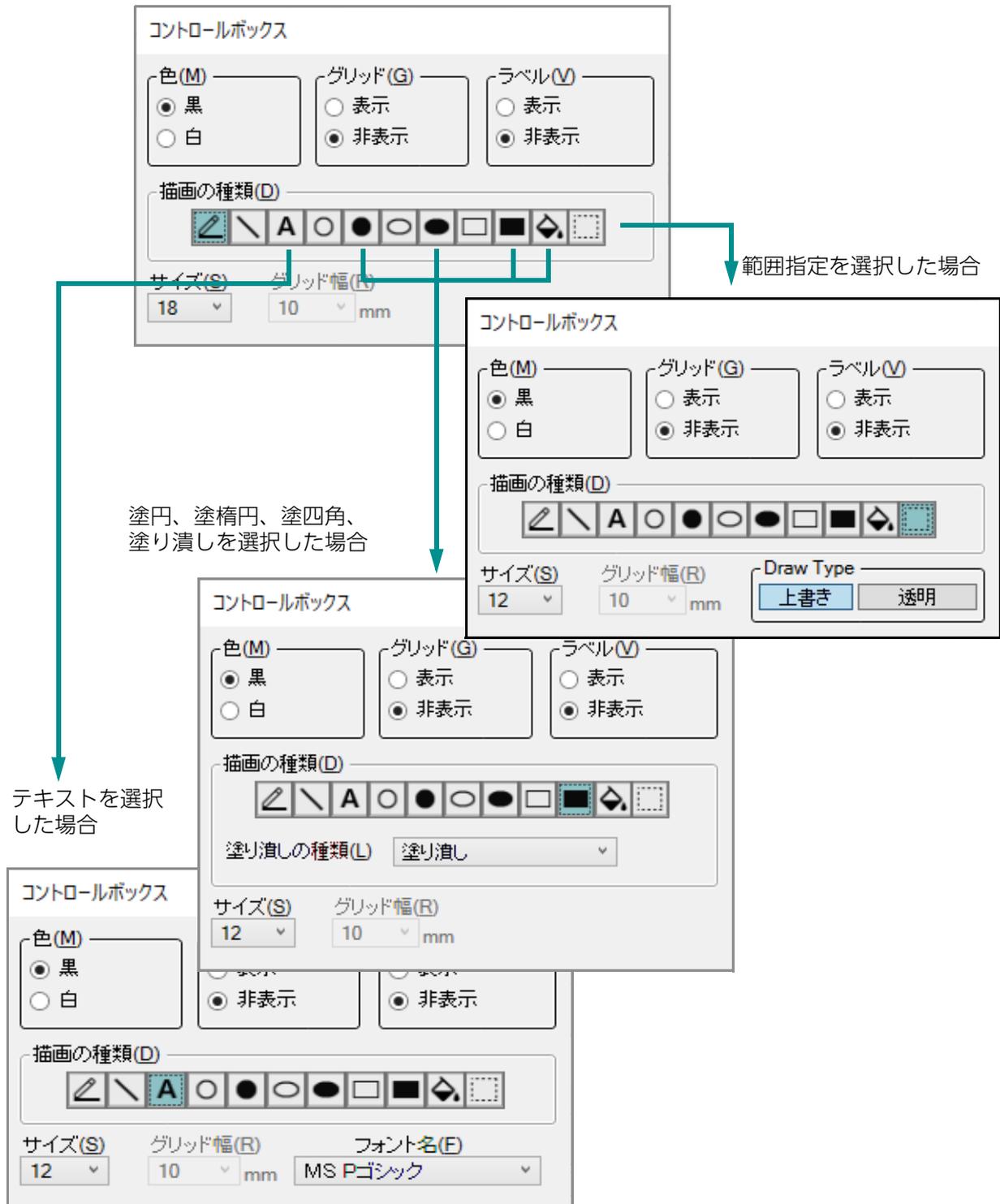
## ヘルプ



項目	説明
バージョン情報	本スタンプツールのバージョンを表示します。

## コントロールボックスの項目一覧

コントロールボックス画面の各項目について説明します。



項目	説明
色*	描画、フォントの色を選択できます（白／黒）。
グリッド	キャンバスにグリッド（格子）を表示できます。
ラベル	キャンバスに日付（Dateボックス）、ナンバリング（Numberボックス）を表示できます。

項目	説明
描画の種類	ペン : フリーハンドで線を書くときに使います。 線 : 直線を書くときに使います。 テキスト : 文字を入力するときに使います。 円 : 円を書くときに使います。 塗円 : 黒または白塗りの円を書くときに使います。 楕円 : 楕円を書くときに使います。 塗楕円 : 黒または白塗りの楕円を書くときに使います。 四角 : 四角形を書くときに使います。 塗四角 : 黒または白塗りの四角形を書くときに使います。 塗り潰し : 線で囲まれた部分を塗りつぶすときに使います。 範囲指定 : [編集] メニュー、移動、削除の範囲を指定するときに使います。
塗り潰しの種類	塗円、塗楕円、塗四角、塗り潰しを選択したときに、塗り潰しの種類を選択できません (塗り潰し、透明、横線、縦線、斜線 (左上→右下)、斜線 (右上→左下)、クロス、網掛け)。
サイズ	フォントを含めた描画のサイズを指定します。 ペンの太さを指定します (1~128)。
グリッド幅	グリッド (格子) の間隔を指定します (1~50 mm)。
フォント名	テキストを選択したときに、フォント名を選択できます。
DrawType	範囲指定を選択したときに、選択した範囲の背景の処理を指定します。

\* 切り取り、移動、削除の場合、白を選択すると、画像の元の場所は白くなります。

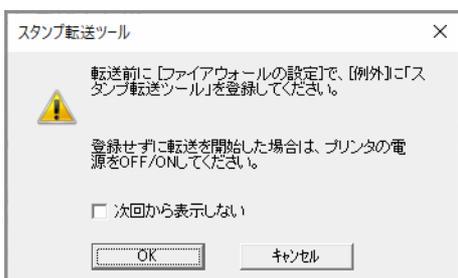
## 2.5 スタンプデータを転送する

スタンプデータをプリンター本体に転送する方法について説明します。

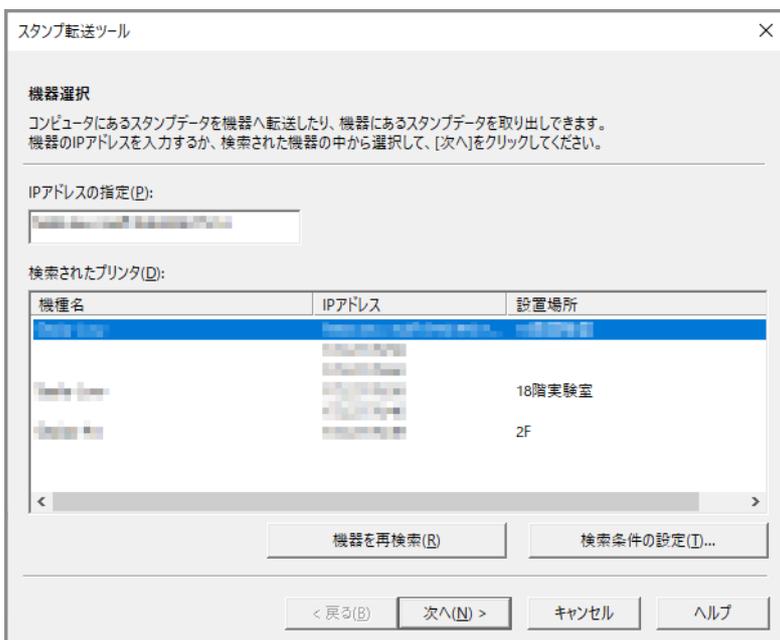
FUJI XEROX DocuWide 2055の場合は、転送後にスタンプデータを呼び出しが必要です。それ以外の機種の場合は、スタンプデータを呼び出す作業は必要ありません。

### スタンプデータを転送する

1. Windows の [スタート] メニューから、[FUJIFILM Wide Format Stamp Tools] > [スタンプ転送ツール] を選択します。
2. 確認のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックします。



3. 転送するプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。



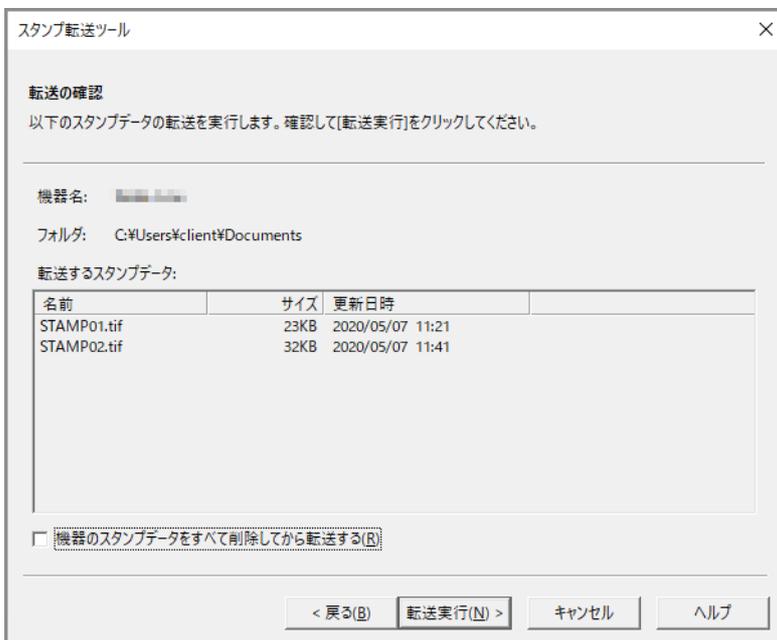
- 補足**
- ・ FUJI XEROX DocuWide 9095α は、コントローラーのバージョンが 1.2.0 以上の場合、IPv6 アドレスに対応しています。
  - ・ 転送するプリンターが表示されない場合、[IP アドレスの指定] にプリンターの IP アドレスを入力してください。
  - ・ FUJI XEROX DocuWide 2055 以外の場合は、IPv6 アドレスを指定できます。

4. 本体で登録した User ID、パスワードを入力し、[OK] をクリックします。  
FUJI XEROX DocuWide 2055 の場合は、この手順は不要です。手順 5 に進んでください。



**補足** パスワードは、本体側の [仕様設定/登録] > [スタンプデータ管理者情報の設定] > [スタンプデータ管理者パスワード] で変更できます。  
工場出荷時の設定は次のとおりです。  
・ User ID:stamp  
・ パスワード :stamp  
詳細については、それぞれの機種のマニュアルを参照してください。

5. [フォルダ] の [参照] をクリックして、スタンプが格納されているフォルダーを指定し、[OK] をクリックします。

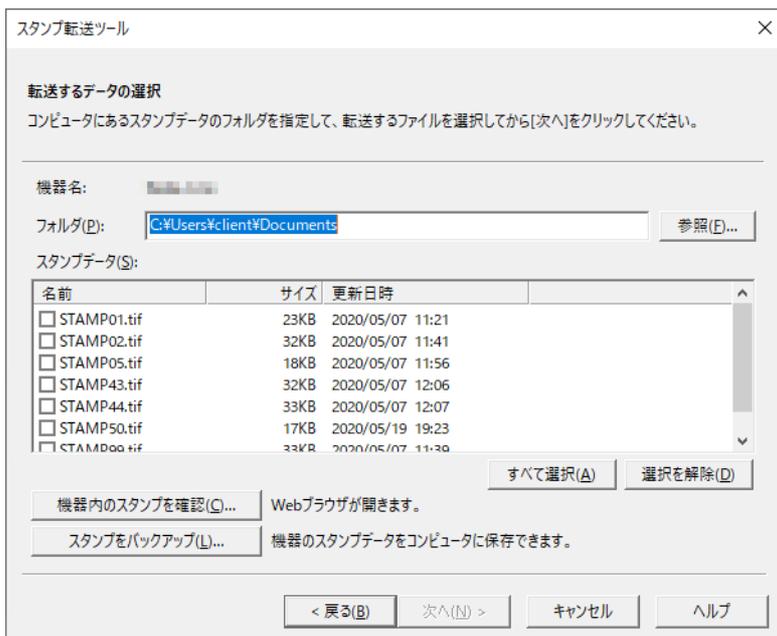


フォルダー内のスタンプファイルが表示されます。

**補足**

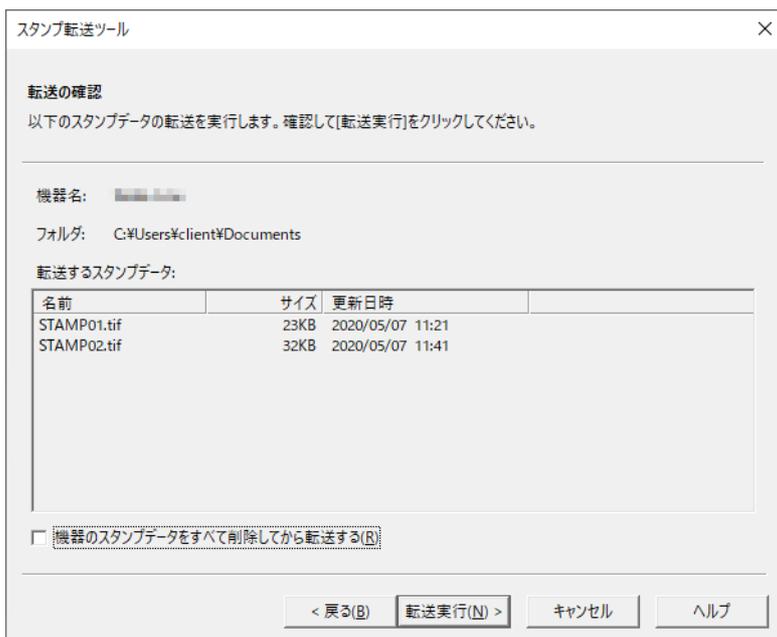
- ・ 指定するフォルダーは、書き込みが許可されている必要があります。書き込みが許可されていないと、スタンプデータを転送できません。
- ・ [スタンプをバックアップ] をクリックすると、プリンター（機器）にあるスタンプデータをバックアップできます。
- ・ [機器内のスタンプを確認] をクリックすると、スタンプ番号および内容を確認できます。
  - 弊社の機種の場合：インターネットサービスが起動し、[サポート] をクリックすると、[スタンプ一覧] 画面が表示されます。
  - 富士ゼロックス製の機種（DocuWide 2055 を除く）：CentreWare Internet Services が起動し、[サポート] をクリックすると、[スタンプ一覧] 画面が表示されます。
  - 富士ゼロックス製の機種 (DocuWide 2055) の場合：Print Services on Web が起動し、[プロパティ] > [システム設定] > [スタンプ] 画面が表示され、スタンプ番号および名称を確認できます。

## 6. 転送するファイルを選択し、[次へ] をクリックします。



**補足** 転送できるスタンプファイル数は、最大 99 個（FUJI XEROX DocuWide 2055 では、30 個）です。

## 7. 転送するファイルを確認し、[転送実行] をクリックします。



**補足** ・スタンプデータは、プリンター本体のハードディスクに転送されます。プリンター本体に同じ名前のスタンプデータがある場合、上書きするかどうかの確認のメッセージが表示されます。

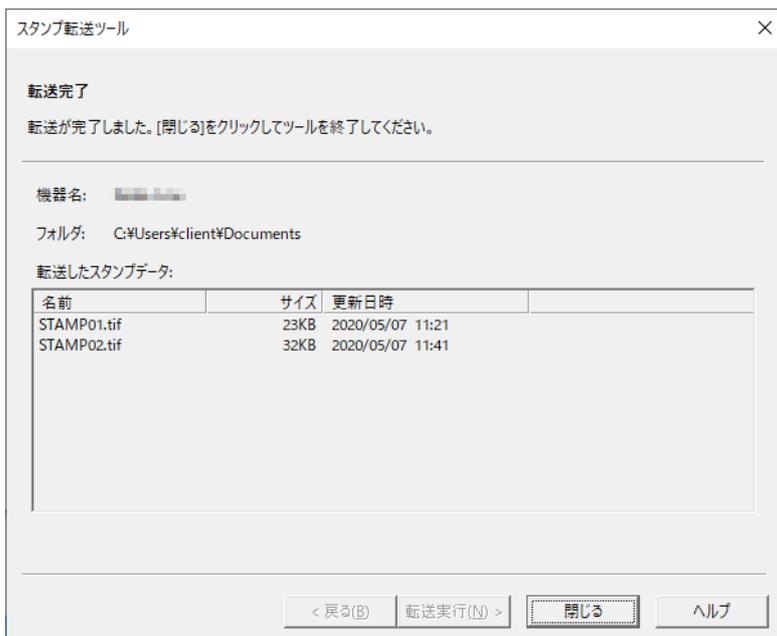


・[機器内のスタンプデータをすべて削除してから転送する] にチェックマークを付けると、すべて削除してから転送します。この場合、上書きするかどうかの確認のメッセージは表示されません。

転送が始まり、メッセージが表示されます。

**補足** [キャンセル] をクリックすると、プリンター本体のハードディスクのスタンプデータは転送する前の状態に戻ります。

## 8. [閉じる] をクリックします。



[スタンプ転送ツール] 画面が閉じます。

**補足** 転送が完了すると、スタンプが格納されているフォルダーに履歴ファイル「STAMPSET.inf」が作成されます。ファイルには、次の情報が記載されます。

項目	説明
FolderPath	転送したスタンプデータが格納されているフォルダーが記録されます。
SendFileOk	転送したスタンプ番号が記録されます。
SendFileNg	転送に失敗したスタンプ番号が記録されます。
SendTime	転送した日時が記録されます。
IPAddress	転送したコンピューターのIPアドレスが記録されます。

## スタンプデータを呼び出す

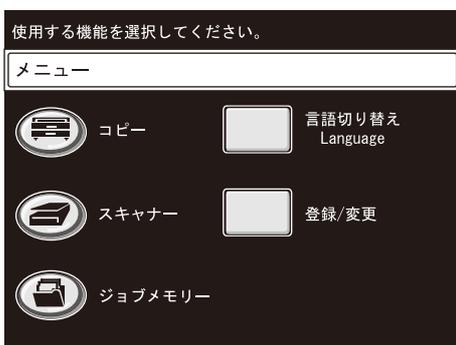
この操作は、FUJI XEROX DocuWide 2055の場合に実施します。それ以外の機種の場合は、この操作は不要です。

スタンプは、あらかじめスタンプツールで作成し、DocuWide 2055のハードディスクに転送しておきます。コピー、プリントするときに転送されたスタンプデータを、メモリーに読み込んで使用します。

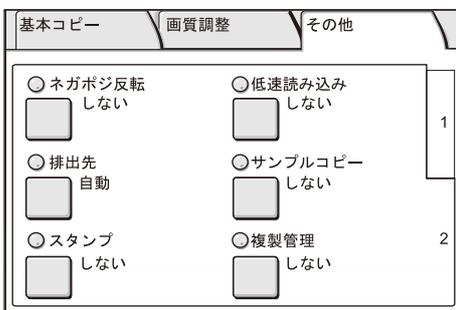
ここでは、電源を入れるたびに、コピー画面からメモリーに読み込む方法について説明します。

- 補足**
- ・ DocuWide 2055 のハードディスクに転送しただけでは、スタンプとして使用できません。DocuWide 2055 でスタンプデータを読み込む必要があります。
  - ・ スタンプデータを読み込む方法については、富士ゼロックス製の『DocuWide 2055 ユーザーズガイド』の「9 仕様設定」の「スタンプの設定」を参照してください。

### 1. FUJI XEROX DocuWide 2055 のメインメニュー画面で [コピー] を押します。



### 2. [その他] タブを押し、[スタンプ] を押します。



### 3. [スタンプ情報の更新] を押します。



確認画面が表示され、スタンプデータがメモリーに記憶されます。

4. [スタンプ] の [する] を押します。

**補足** [スタンプの一覧プリント] を押すと、メモリーにあるスタンプの一覧をプリントできます。

5. [登録番号 (未登録)] を押します。

6. 使用するスタンプの番号を選択します。

7. [閉じる] を押します。

8. 必要に応じて、各項目を設定します。

## スタンプを使用する

スタンプを使用する場合、あらかじめ作成したスタンプデータをプリンター本体に転送しておきます。スタンプを使用するには、次の方法があります。

- ・プリンター本体の操作パネルのメニュー画面の [コピー] からスタンプを指示してコピーする

**参照** それぞれの機種のマニュアル

- ・プリンタードライバーからスタンプを指示してプリントする

**参照** プリンタードライバーのヘルプ

- ・BT-PlotAssistant からスタンプを指示してプリントする

**参照** BT-PlotAssistant のヘルプ

- ・リプロサーバ BT-X からスタンプを指示してプリントする

**参照** 『リプロサーバ BT-X 操作説明書』

# 3 注意／制限事項

## 3.1 TIFF データの仕様

スタンプツールで取り込めるTIFFデータの仕様は、次のとおりです。

取り込み可能な 圧縮形式	深さ (ビット数×チャンネル数)	カラータイプ
CCITT1D G3Fax1D G3Fax2D G4Fax	1×1	Gray、Gray反転
PackBits	制限なし	制限なし
JPEG (T.81)	8×1	Gray、Gray反転
	8×3	RGB、YCbCr、ITULAB、CCLAB
JBIG (T.85)	1×1	Gray、Gray反転
JBIGColor (T.43)	8×1	Gray、Gray反転、 ITULABインデックスカラー
	8×3	ITULAB

## 3.2 注意／制限事項

- FUJI XEROX DocuWide 9095α では、他の機種 of スタンプデータをそのまま使用できません。使用する場合は、スタンプ作成ツールの新規作成で、他の機種 of スタンプデータを画像取り込み、保存し直します。
- スタンプ作成ツールで扱う画像は、すべてモノクロ画像（2 値）で保存されます。
- スタンプデータを転送中に [キャンセル] をクリックしたり、エラーが表示されたりした場合は、データは転送できません。再度、スタンプデータを転送してください。
- Windows でスタンプデータを保存するフォルダーは、[書き込み] 権限のあるフォルダーを指定してください。  
たとえば、一般ユーザー権限で C:\Program Files や C:\Windows を指定すると、このフォルダーにアクセス権がないため、実データが別の場所に保存されます。また、「インストールしたフォルダー」 > 「Sample」フォルダーに格納されているサンプルデータをご利用の場合は、必要なデータをデスクトップにコピーしてからお使いください。
- Windows でスタンプデータを転送する場合は、転送前にスタンプ転送ツールをファイアウォールの例外として登録してください。  
スタンプ転送ツールの起動時に、登録をお願いする画面が表示されます。まだ登録されていない場合は、[キャンセル] ボタンをクリックして登録してください。そのとき、[次回から表示しない] にチェックマークを付けると、次の起動時からこの画面を表示しません。  
登録の方法は、次のとおりです。
  - (1) Administrator 権限のユーザでサインインし、Windows の [スタート] メニューから、[Windows システムツール] > [コントロールパネル] を選択します。
  - (2) [システムとセキュリティ] をクリックします。

- (3) [Windows ファイアウォールによるプログラムの許可] をクリックします。
- (4) [設定の変更] をクリック後、[別のプログラムの許可] をクリックし、[プログラムの追加] 画面を開きます。
- (5) [参照] をクリックして、[スタンプ転送ツール] を選択し、[追加] をクリックします。
- (6) [許可されたプログラムおよび機能] に [STAMPSSEND EXE] が表示されるので、[ホーム / 社内 (プライベート)] または [パブリック] にチェックマークが付いていることを確認します。  
チェックマークが付いていない場合、チェックマークを付け、[OK] ボタンをクリックしてください。

# 問い合わせ先

カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。  
電話番号は、プリンター本体に貼付のカードやシールに書かれています。

**受付時間** 土曜、日曜、祝日を除く  
9時～17時30分（一部の地域では異なります）

**電話番号** 機械本体の貼付カードをご確認ください。

## ●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話：0120-27-4100（通話料無料）

FAX：0120-05-5035（通話料無料）

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く 9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

## Wide Format Stamp Tools 操作説明書

著作者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行者 — 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

発行年月日 — 2021年4月 第1版

(管理 No.:GM1063J1-1)